

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	食道癌手術における炎症性マーカーと術後せん妄との関連についての検討		
2. 対象患者	以下の期間弘前大学医学部附属病院で食道癌に対し食道亜全摘術を受けた患者様		
3. 対象となる期間	2015年7月1日    ~    2021年3月31日		
4. 実施診療科等	麻酔科		
5. 研究責任者	氏名	大山 翼	所属 弘前大学医学部附属病院 集中治療部
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	共同研究機関はありません。		
7. 研究の意義	術後せん妄は術後認知機能のみならず、在院日数や死亡率にも影響し得る合併症です。現在術後せん妄を予測するための確定的な方法はありませんが、食道癌手術における炎症反応は術後せん妄のリスク因子となり得るものであり、予後の観点からも早期に介入すべき問題です。術前の炎症性マーカー等の血液検査結果から術後せん妄の発症を予測することにより、予防法やより良い術後の治療の確立に繋がる可能性があると考えられます。		
8. 研究の目的	患者様の過去の診療記録より得られる既往歴や血液検査結果、術後せん妄発症の有無等を統計解析することにより、術前の炎症性マーカーが術後せん妄の発症と関連するかを後ろ向きに検討します。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	上記期間に食道亜全摘術を受けた患者様の年齢、既往歴等の背景及び術前の血液検査、術中の出血量や輸液・輸血量等の情報を、術後せん妄発症群と非発症群の2群に分類し、Mann-Whitney's U testまたはFisher's exact testで患者様の背景及び各種パラメーターの比較を行います。また、せん妄を従属変数として各種炎症性マーカーがせん妄の予測因子となり得るかロジスティック回帰分析を用いて行います。		
10. 個人情報の保護	本研究で収集したデータは個人が特定されないように配慮し、全て匿名化した上で麻酔科学講座に保管します。該当患者様及びその御家族から本研究へ批判や拒否の意向が示された場合には速やかにデータを削除します。ただし、学会や論文への発表・投稿後に拒否の意向が示された場合は、公表後の結果を修正することはできませんので、御了承願います。		
11. 利益相反に関する状況	研究責任者、全ての共同研究者に開示すべき利益相反は存在しません。		
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院集中治療部 大山 翼		
	電話	0172-33-5113	FAX    0172-33-5112